シュロロ	<u> </u>	<u> </u>	開講年度	令和03年度 (2	021年度)	授業科目	ネットワ	<u>ークプ</u> ログ	<u>ブラ</u> ミング	
/거니셔					· -,					
科目番号		0103			科目区分	専門 / 🤃				
授業形態		授業			単位の種別と単位					
開設学科	-	総合工学	 		対象学年 4		<u> </u>			
開設期		後期	TILAR		週時間数	2				
<u>/// 数</u> 教科書/教			 サーバ構築標準教練	科書 I I PT-lanan	Zerolusza	- O D D D D D D D D D D D D D D D D D D				
<u> </u>		矢島 邦		11 <u> </u>						
到達目		7 (23 7)	н							
【学習・ (C)情報	教育目標】 報工学あるい	ハは電子工学	•	豊かなエンジニアとし	,て活躍するための	知識を獲得する	<b>る</b> こと。			
Linuxに	よるインタ-	ーネットサー	バの構築ができる。	ようになること。						
ルーブ	リック		T		I.—		1			
TCP/IP0	の理解		· ·	理想的な到達レベルの目安 TCP/IP技術の基礎知識を理解し説明できる。		標準的な到達レベルの目安 TCP/IP技術の基礎知識を理解できる。		未到達レベルの目安 TCP/IP技術の基礎知識を理解できない。		
サーバ構	築			Linuxによるインターネットサーバ の構築ができ説明できる。		ターネットサー	の構築ができない。		ネットサール	
ソケット	通信の理解	<u> </u>				ソケット通信を用いたネットワー クプログラムが理解できる。		ソケット通信を用いたネットワー クプログラムが理解できない。		
学科の	到達目標	項目との関	 ]係							
JABEE (	A) 実践技術	者としての	高度でかつ幅広い碁	基本的能力・素養						
教育方:	法等									
概要		を活用し この科目 で授業を	,ながら実践的に学 目は企業でネットワ ≟行うものである。	らを用いたネットワー図・修得する。  一クの構築・運用・]	コンサルティングを	と担当していた	教員が, その	経験を活かし	,演習形式	
授業の進	め方・方法	【事前学 シラバス 【事後学	学習】 《の内容を確認し、	テラシ, コンピュー/ ワーキング I を履修 ーク機器を用いた演 関連する内容を調査			一八件未你牛	X付首] 守の:	致物で用いり	
			提示された課題に	取り組み, 自分自身	での調査や実習を行	<sub>5</sub> うこと。				
注意点			提示された課題に	取り組み, 自分自身 習を確実に行い, 着	での調査や実習を行	<sub>5</sub> うこと。	不明な点があ	れば進んで質	問すること	
授業の		授業時間 。 修上の区分	提示された課題に けんぱん おけい おけい はいかい はいかい はい		での調査や実習を行実に理解するよう心	うこと。 が掛けること。				
授業の	属性・履行	授業時間 。 修上の区分	提示された課題に 外における自学自		での調査や実習を行	うこと。 が掛けること。		れば進んで質 経験のある教		
授業の □ アク:	ティブラー	授業時間 。 修上の区分	提示された課題に けんぱん おけい おけい はいかい はいかい はい		での調査や実習を行実に理解するよう心	うこと。 が掛けること。				
授業の □ アク:	ティブラー	授業時間。   修上の区分	提示された課題に 別外における自学自		での調査や実習を行 実に理解するよう心	<u>;うこと。</u> が掛けること。	□ 実務終			
授業の □ アク:	ティブラー	授業時間 。 修上の区分	提示された課題に けんぱん おけい おけい はいかい はいかい はい		での調査や実習を行 実に理解するよう心   遠隔授業対応	ううこと。 が掛けること。 固ごとの到達E	□ 実務総	経験のある教	員による授	
授業の □ アク:	ティブラー	授業時間。   修上の区分	提示された課題に 別外における自学自		での調査や実習を行実に理解するよう心 は、 遠隔授業対応	<ul><li>うこと。</li><li>対けること。</li><li>週ごとの到達目</li><li>この授業の目的。</li><li>寅習の準備と事</li></ul>	□ 実務系  標   「学習内容、  新学習を通じ	経験のある教 到達目標など	員による授	
授業の □ アク:	ティブラー	授業時間。 修上の区分	提示された課題に 別外における自学自		での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応	デラこと。 か掛けること。 週ごとの到達目 この授業の目的	□ 実務経 □ 実務経 □ 実習内容, 「前学習を通じ ・ンの作成方法	経験のある教 到達目標など 、現状の知識	員による授 ごを理解する 哉・理解の度	
授業の □ アク:	ティブラー	修上の区分	提示された課題に 別外における自学自 別の ICT 利用 図 ICT 利用 授業内容 概要説明 事前学習		での調査や実習を行実に理解するよう心   遠隔授業対応   。	デラこと。 対掛けること。 過ごとの到達目 この授業の目的 演習の準備とする にアナヤルマシ	□ 実務経 □ 実務経 □ 実習内容, 「前学習を通じ ・ この作成方法 ・ 施する。	経験のある教 到達目標など 、現状の知識 E、Linuxのイ	員による授業 ごを理解する 哉・理解の度 ンストール	
授業の □ アク:	声ィブラー:	授業時間。 修上の区分 ニング 週 1週 2週	提示された課題に 別外における自学自		での調査や実習を行実に理解するよう心   遠隔授業対応	ラうこと。 か掛けること。 過ごとの到達目 この授業の目的 演習の準確認する。 バーチャロし、マラ東 に可以来によるサ	□ 実務系  標 □, 学習内容, 「前学習を通じ ・ンの作成方法 ・施する。 ーバ構築のたる	経験のある教 到達目標など 、現状の知識 、Linuxのイ めの基本的な	員による授 ごを理解する 3、理解の度 ンストール 設定を理解	
授業の □ アク:	声ィブラー:	授業時間。 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	提示された課題に 外における自学自		での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応	過ごとの到達目 の授業の目的 実際の連続とする ででではいい、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	□ 実務組標 □, 学習内容, が前学習を通じる。 ことの作成方法にあする。 ーバ構築のたる	経験のある教 到達目標など 、現状の知証 、Linuxのイ めの基本的な なし、実施する	員による授 ごを理解する 3。 シストール 設定を理解 3。	
授業の □ アク:	声ィブラー:	授業時間。 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週	提示された課題に 外における自学自		での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応	は	□ 実務総 標 □, 学習内容, 前学習を通じ。 ・ンの作成方法 に施する。 一バ構築のたる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	経験のある教 到達目標など 、現状の知語 、Linuxのイ めの基本的な なし、実施する なし、実施する	員による授 ごを理解する は・理解の度 ンストール 設定を理解 る。 る。	
授業の アクラ	声ィブラー:	授業時間。 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週	提示された課題に 別外における自学自		での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応	で 動性けること。 動性けること。 動性けること。 過ごとの到達目 この授業備と見る いを確認する バーチャルし、実 法・ロuxによるサ 、実施する。 DNSサーバの様	□ 実務総 標 回, 学習内容, 前学習を通じ。 シンの作成方法: 施する。 一バ構築のたる 構築技法を理解 積築技法を理解 積築技法を理解	至験のある教 到達目標など 、現状の知識 は、Linuxのイ めの基本的な なし、実施する なし、実施する なし、実施する なし、実施する なし、実施する	員による授 ごを理解する 哉・理解の度 ンストール 設定を理解 る。 る。 る。	
授業の アクラ	声ィブラー:	授業時間。 修上の区分 コング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	提示された課題に 別外における自学自		での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応	過ごとの到達目の 過ごとの到達目の 一のでででである。 一のででである。 一のででである。 ででではないである。 ででではなるが、 でではないである。 ではないではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないである。 ではないではないである。 ではないではないである。 ではないではないである。 ではないではないである。 ではないではないである。 ではないではないである。 ではないではないではないである。 ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	□ 実務系  標 □, 学習内容, 前学習を通じ シンの作成方法 施する。 一バ構築のたる 情築技法を理解 積築技法を理解 積築技法を理解 積築技法を理解 積築技法を理解	経験のある教 到達目標など 、現状の知語 、現状の知語 、現状の知語 は、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する	員による授 ごを理解する 哉・理解の度 ンストール 設定を理解 る。 る。 る。	
授業の アクラ	声ィブラー:	授業時間 修上の区分 コング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	提示された課題に 別外における自学自 別における自学自 別における自学自 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応 。	周ごとの到達目のでは、 のはいること。 のはいること。 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののでは、	□ 実務系 □ 実務系 □ 実習内容, □ 学習内容, □ が で	経験のある教 到達目標など 、現状の知証 、現状の知証 、現状の知証 、現版する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ない、実施する ないが、実施する ない、実施ない、実施ない、実施ない、実施ない、実施ない、実施ない、実施ない、実施	員による授 ごを理解する 3、理解の度 ンストール 設定を理解 3。 3。 3。 5。 5。 5。 5。	
授業の □ <i>アク</i> : 授業計	声ィブラー:	授業時間 修上の区分 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	提示された課題に 外における自学自 外における自学自 別がにおける自学自 では、 では、 では、 では、 がは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で		での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応 は 遠隔授業対応 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	過ごとの到達目の 過ごとの到達目の では、 のででででは、 のででででででできます。 ででででできます。 でででできます。 でででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	□ 実務組標 □ 実務を通じ、学習内容、が前学習を通じ、シンの作成方法を可能は表を理解は表を理解は表を理解は表表を理解は実技法を理解は無葉技法を理解し、機能を表表を理解して、では、これには、できない。	経験のある教 到達目標など 現状の知記 、現状の知記 、現状の知記 、現本的な ない。実施する ない。またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、	員による授 ごを理解する 哉・理解の度 ンストール 設定を理解 る。 る。 る。 する。 はる。	
授業の □ <i>アク</i> : 授業計	声ィブラー:	授業時間 を上の区分 週 1週 2週 3週 4週 6週 7週 8週 9週	提示された課題に 別外における自学自 別外における自学自 別がにおける自学自 「ICT 利用 「授業内容 概要説学習 サーバ構築演習		での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応 は 遠隔授業対応 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	は 関でとの到達目の 関でとの到達目の 関でを理解の 質別を確認でできます。 にでを理解による。 DNSサーバの相の DNSサーバの相の Webサーバの相 メールサーバの メールサーバの メールサーバの ファイルサーバの	□ 実務組標 □ 実務を通じ、学習内容、が前学習を通じ、この作成方法を理解構築技法を理解構築技法を理解構築技法を理解構築技法を理解構築技法を理解構築技法を理解し、構築技法を理解し、関係を受ける。	経験のある教 到達目標なる 現状の知記 、 Linuxのイ めの基本的な 足し、実施する は、実施する は、実施する に、実施する に、実施する は、実施する は、実施する は、実施する は、し、実施する は、といる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	員による授 ごを理解する 3、理解の度 ンストール 設定を理解 3。 3。 5。 5。 5。 5。 5。 5。 5。 5。 5。 5。 5。 5。 5。	
授業の □ <i>アク</i> : 授業計	ティブラー: 画 3rdQ	授業時間 を上の区分 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	提示された課題に 別外における自学自 別人における自学自 別人における自学自 別人における自学自 別人における自学自 別人における自学自 別人における自学自 の名の の名の の名の の名の の名の の名の の名の の名の の名の の名		での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応 は	は で は は は は は で の の の の で で で で で で で で で で で で で	□ 実務総 □ 実務総 □ 実習内容, □ が 学習内容, □ が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	経験のある教 到達目標など 現状の知 、 Linuxのイ かの基本的な なし、実施する なし、実施する は、実験を に理解し、実施する は理解し、実施する は理解し、実施する は理解し、実施する は理解し、実施する は理解し、実施する は理解し、実施する は理解し、実施する	員による授 ごを理解する は・理解の度 ンストール 設定を理解 る。 る。 する。 する。 する。 する。 またする。	
授業の □ <i>アク</i> : 授業計	声ィブラー:	授業時間 を を を を を を を を を を を を を	提示された課題に 別外における自学自 別外における自学自		での調査や実習を行 実に理解するよう心	通ごとの到達目の 過ごとの到達目の ののででは、 ののでででは、 ののでででは、 ののでででは、 ののでででは、 ののででできます。 ででできます。 ででできます。 ででできます。 でできまする。 でできますできます。 でできます。 でできます。 でできますできます。 でできますできます。 でできますできます。 でできますできます。 でできますできます。 でできますできます。 でできますできます。 でできますできます。 でできますできます。 でできますできます。 でできますできます。 でできますできます。 でできますできます。 でできますできますできます。 でできますできますできます。 でできますできますできます。 でできますできますできますできますできますできます。 でできますできますできますできます。 でできますできますできますでできますできますでできますできますでできますできます	□ 実務経  標   一 実習内容,   前学習を通じ。   シーの作成方法:   施する。 一 バ構築のたと   4 築技法を理解   4 集接技法を理解   4 集接技法を理解   4 集接技法を理解   5 は無い構築技法を理解   6 はには、   6 は、   7 にの構築技法を理解   7 には、   7 には、   8 には、   8 には、   9 には、   1 には、	経験のある教 到達目標など 現状の知 、 Linuxのイ かの基本的な なし、実施する なし、実施する は、実験を に理解し、実施する は理解し、実施する は理解し、実施する は理解し、実施する は理解し、実施する は理解し、実施する は理解し、実施する は理解し、実施する	員による授 ごを理解する は・理解の度 ンストール 設定を理解 る。 る。 する。 する。 する。 する。 またする。	
授業の	ティブラー: 画 3rdQ	授業時間 を を を を を を を を を を を を を	提示された課題に 別外における自学自 別外における自学自 別外における自学自 別がにおける自学自 関連 「ICT 利用 授業内容 概要説学 サーバ構築演習 カーバ構築演習 カーバ構築演習 カーバ構築演習 カーバ構築演習 カーバ構築演習 カーバ構築演習 カーバ構築演習 カーバ構築演習		での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応 は	Biocal State Sta	標	理験のある教 到達目標な記 、 Linuxのイ めの基実に変し、 、 上ではし、実施を理解し、 、 実実に変し、 、 実実に変し、 、 実実に変し、 、 実実に変し、 、 実に変し、 、 実に変し、 、 実に変し、 、 実に変し、 、 実に変し、 、 にはなる。	員による授 ごを理解する。 さる。 なる。 なる。。 する。。 する。。 する。。 する。。 まある。 まある。 まある。	
授業の アクラ	ティブラー: 画 3rdQ	授業時間 授業時間 を上が 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 12週 13週 13週 13週 13週 13週 13週 13週 13	提示された課題に 別外における自学自 別外における自学自 別外における自学自 関葉内容 概要説学 サーバ構築演習		での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応 は	は で で で で で で で で で で で で で	標	理験のある教 到達目標の知 、 Linuxのイ めの基実に変し、 、 上inuxのイ かの基実施施する。 に対し、実施をは 理解し、実実に変し、 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、とは、またでは、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し	員による授 で理解する。 さな理解のほ ンスト 理解 る。。 まる。。 まる。。 まる。。 まする。 実施する。 図る。	
授業の アクラ	ティブラー: 画 3rdQ	授業時間 を上の区分 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	提示された課題に 外における自学自 別外における自学自 別がにおける自学自 関連を表現である。 「ICT 利用 授業内容 概要説学 サーバ構築演習 サーバ構築方面 カーバ カーバ カーバ カーバ カーバ カーバ カーバ カーバ		での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応 は	同されます。 同さとの到達目の 同さとの到達目の の習いを業準にない。 の習いを理にない。 の習いを理にない。 のNSサーバのが が表し、のが、のが、 のNSサーバのが、 メールサーバのが、 メールインサーバのが、 メールインリン・ストラークででいる。 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで	標	理験のある教 到達目標の知 、 Linuxのイ めの基実に変し、 、 上inuxのイ かの基実施施する。 に対し、実施をは 理解し、実実に変し、 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、とは、またでは、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し	員による授 でを理解する。 さる。 は、フトール 設定を理解 る。。 はる。。 はある。 はある。 はある。 まある。 まある。 まある。 まある。 まある。 まある。	
授業の □ アク: 授業計	更 ardQ 4thQ	接   接   を   上   が   で   で   で   で   で   で   で   で   で   で	提示された課題に 別外における自学自 別外における自学自 別がにおける自学自 関係	習を確実に行い,着	での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応 は	同されます。 同さとの到達目の 同さとの到達目の の習いを業準にない。 の習いを理にない。 の習いを理にない。 のNSサーバのが が表し、のが、のが、 のNSサーバのが、 メールサーバのが、 メールインサーバのが、 メールインリン・ストラークででいる。 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで	標	理験のある教 到達目標の知 、 Linuxのイ めの基実に変し、 、 上inuxのイ かの基実施施する。 に対し、実施をは 理解し、実実に変し、 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、実施である。 に対し、とは、またでは、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、またでは、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し、 に対し	員による授 でを理解する。 さる。 は、フトール 設定を理解 る。。 はる。。 はある。 はある。 はある。 まある。 まある。 まある。 まある。 まある。 まある。	
授業の □ アク: 授業計 後期	更 ardQ 4thQ	接   で   で   で   で   で   で   で   で   で   で	提示された課題に 別外における自学自 別外における自学自 別がにおける自学自 関係	置を確実に行い,着の	での調査や実習を行 実に理解するよう心	同されます。 同さとの到達目の 同さとの到達目の の習いを業準にない。 の習いを理にない。 の習いを理にない。 のNSサーバのが が表し、のが、のが、 のNSサーバのが、 メールサーバのが、 メールインサーバのが、 メールインリン・ストラークででいる。 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで	標	経験のある教 到達目標など 記、Linuxのイ めのよう。 は、上文のは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	員による授 ごを理解する。 でを理解の原 ンストでを理解の る。 る。 ある。 する。 する。 まある。 まある。 まある。 まある。 まある。 なする。	
授業の □ アク: 授業計 後期	更 ardQ 4thQ	接   接   を   上   が   で   で   で   で   で   で   で   で   で   で	提示された課題に 別外における自学自 別外における自学自 別がにおける自学自 関係	望を確実に行い,着望 を確実に行い,着望	での調査や実習を行実に理解するよう心 遠隔授業対応 は	同されます。 同さとの到達目の 同さとの到達目の の習いを業準にない。 の習いを理にない。 の習いを理にない。 のNSサーバのが が表し、のが、のが、 のNSサーバのが、 メールサーバのが、 メールインサーバのが、 メールインリン・ストラークででいる。 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、ので、 では、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで、これまで	標	経験のある教 到達目標のは 、 Linuxのイ かの基実実実に 経りし、、 しり、 しり、 は 経り、 は、 とは とは、 は、 とは とは、 とは とは とは、 とは とは とは、 とは とは とは とは とは とは とは とは とは とは とは とは とは と	員による授 ごを理解する。 でを理解の原 ンストでを理解の る。 る。 ある。 する。 する。 まある。 まある。 まある。 まある。 まある。 なする。	
授業の □ アク: 授業計 後期	更 ardQ 4thQ	Part   Part	提示された課題に 別外における自学  「ICT 利用  「関係を 「関係を 「関係を 「関係を 「関係を 「関係を 「関係を 「関係	達目標 学習内容の到達目標 プロトコルの概念な	での調査や実習を行 実に理解するよう心 」 遠隔授業対応 」 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	周ごと。 過ごとの到達 同ごの習いとの で表になる。 の習いとの業準確や解よる。 のでは、 で表になった。 ののでは、 のの	標	経験のある教 到達目標など 記、Linuxのイ めのよう。 は、上文のは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	員による授 ごを理解する。 で、理解の原 ンストでを理解の る。 る。 る。 まる。 まる。 まする。 実施する。 図る。	

				インターネットの概	既念を説明できる。		3	
				TCP/IPの4階層につる具体的かつ標準的	ついて、各層の役割を説明 りな規約や技術を説明でき	]でき、各層に関係す :る。	3	
				主要なサーバの構築	整方法を説明できる。		3	
				情報通信ネットワー 説明できる。	- クを利用したアプリケー	-ションの作成方法を	3	
				ネットワークを構成 いて説明できる。	<b></b>	本的な設定内容につ	3	
				基本的なルーティン	ング技術について説明でき	<b>きる</b> 。	4	後4,後7,後 10,後13
				基本的なフィルタリ	リング技術について説明で	<b>ごきる</b> 。	4	後4,後7,後 10,後13
評価割合								
		演習	⊒A		演習B	合計		
総合評価割合			50		50	100		
基礎的能力		30	30		10	40		
專門的能力 :		10	10		30 40			
分野横断的能力 :		10	10		10 20			·